

電動ライティングクリーナー

取扱説明書

このたびは、デンサン 電動ライティングクリーナー をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。 ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり指示に従って正しく使用してください。 お読みになった取扱説明書はお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

特長

- ●電動回転式で高所のランプや、天井、壁などの手の届きにくいところを掃除することができます。
- ●別売りのランプチェンジャーポールと組み合わせて使用できます。

 この商品は、別売りのランプチェンジャーポールと組み合わせて使用します。(DLC-LCD180S、DLC-LCD330S以外)

 適用ポール

 ・DLC-180(1.8m)

 ・DLC-AP33(3.3m)

 ・DLC-AP60(6m)

 ・DLC-AP93(9.3m)

安全上の注意

↑ た 険 この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う危険性が非常に差し迫って生じる可能性がある」内容を示します



- 必ずランプの電源を切ってから作業してください。
- 高圧電線が近くにある場所での使用はお止めください。感電や重大な事故の原因になる恐れがあります。

★ 警告 この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う可能性がある」内容を示します

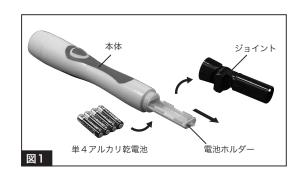
- ●ランプ(ガラス)の割れているものやキズついているもの(クラックなど)には使用しないでください。
- ●不意の落下物等で怪我する恐れがあります。清掃作業中はヘルメット、保護メガネ、手袋を着用し、必要であれば養生シートなどで保護してください。周囲に人がいない事を確認してから作業を行ってください。
- ●ランプの清掃は必ず電源を切り、ランプが冷えてから行ってください。ブラシが溶着する恐れがあります。
- ●ポールは垂直に立てて使用し、伸ばした状態で横倒しにしないでください。
- ●乾電池の極性(+)(-)を逆に入れないでください。ショート、過大電流が流れたりして電池の液漏れや発熱、破損の恐れがあります。
- ●長期間使用しない場合は、乾電池を取り外してください。電池から発生するガスにより、液漏れや機器が破損する恐れがあります。
- ●新旧や機種の異なる電池を混ぜて使用しないでください。特性の違いから電池の液漏れ、発熱、破損の恐れがあります。

↑ 注 意 この表示は「誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性がある」内容を示します

- ●ご使用前に部品のゆるみがないか、破損箇所はないか等の始業前点検をして安全確認後にご使用ください。
- ●表面に細かな穴や凹凸、複雑な形状のものにブラシを近づけないでください。ブラシが巻きこんだり、からまったりして破損やケガの原因となります。
- ●本製品を水の近くで使用したり、洗わないでください。故障の原因となります。
- ●ブラシをまげたり、曲がったブラシを使用しないでください。ブラシが当たって破損したり、バランスを崩してポールが転倒する恐れや、機器の破損の原因となります。
- ●熱いものに近付けないでください。ブラシが溶着する恐れがあります。
- ●ポールを必要以上に締めすぎるとロック機構を破損する恐れがあります。
- ●ポールの継手部分は指先で軽く締めるだけでロックできます。あまり強く締めると戻しトルクが大きくなり、緩まなくなったりロック機構を破損するおそれがあります。
- ●ポールの継手は少し緩めるだけにして、スライド抵抗のある状態でポールを押し下げてください。継手を緩め過ぎるとスライドが 開放状態になり急激に落下して指をつめるなど傷害の恐れがあります。
- ●ブラシ装着時は転倒による破損防止のため、取り扱いには十分ご注意ください。
- ●ブラシを清掃するものに、強く押しつけないでください。傷つきや破損の原因になります。
- ●本製品の清掃は軽く湿った布巾で拭いてください。絶対にシンナーなどの溶剤を使用しないでください。溶剤による界面破壊を 誘発しますので注意してください。ブラシのポールとの接続部、ポールの樹脂部品が界面破壊をするおそれがあります。
- ●シンナーなどの溶剤雰囲気中に長期保存しないでください。同様の界面破壊の危険性があります。
- ●保管時はポールから取り外し、ブラシ、電池を取り外してください。誤ってスイッチが入ると、思わぬ事故の恐れがあります。

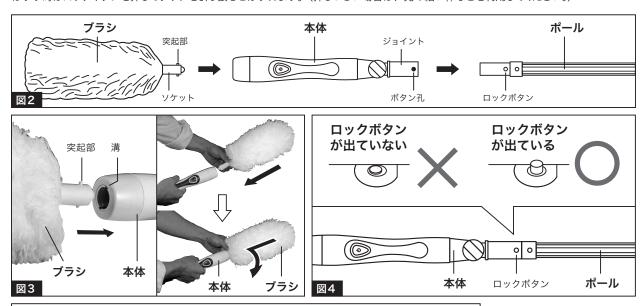
電池の取付け

本体からジョイントを取り外します。(図 1 参照) 電池ホルダーを引き出して、「単4アルカリ乾電池×4本」を入れてください。 電池ホルダーを本体に真直ぐ入れてジョイントを閉めてください。



○ ブラシ・本体・ポールの取付け

ブラシはソケットの突起部を本体の溝に合わせて押しこみ、ブラシを右に(本体は左へ)回してください。(図3参照)軽く引張ったり、回したりしてブラシが確実に取付けられていることを確認してください。ポールのロックボタンを押してジョイントのボタン孔に合わせて挿入すると、ロックされます。(図4参照)はずす時はロックボタンを押してブラシを引っ張るとはずれます。(押しづらい場合は、先の細い棒などを利用してください。)



□ ロックボタンが出ていることを確認し、本体を引張ってもアルミポールから抜けないことを確認してください。 本体が落下する恐れがあります。

ポールの伸縮について (DLC-LCD180S、および1.8mポールは除く) 対象ポール ・ DLC-AP93 / (9.3m) ・ DLC-AP60 / (6.0m) ・ DLC-AP33 / (3.3m)

● 継手をゆるむ方向(右方向)に少し回せば簡単にスライドします。(図 4 参照)

緩める時は継手の上側のポールを持ってください。

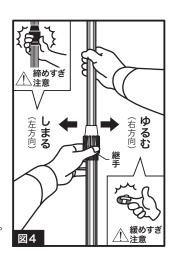
継手は少し緩めるだけにして、抵抗のある状態でポールを押し下げてください。ポールを立てた状態で継手を緩め過ぎると、開放状態になり上側のポールが急激に落下して、指をつめるなど傷害の恐れがあります。

● 継手を左方向に回すことで、ポールを固定できます。

少し強い目に締めた時のスライド方向へのロック強度の限界は約 15kgf (約 147N) です。スライド方向への過度な荷重は絶対にかけないでください。

ポールの継手部分は指先で軽く締めるだけでロックできます。あまり強く締めると戻しトルクが 大きくなり、緩まなくなったりロック機構を破損するおそれがあります。

※電動ライティングクリーナーセット (DLC-LCD180S)、および 1.8m ポール (DLC-180) には継手がありません。 ポールとポールをねじることで緩めたり、固定することができます。



使用方法

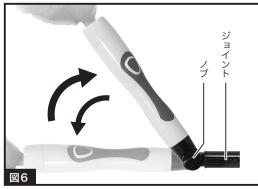
■ 電源を入れる(図5参照)

電源ボタンを押すとブラシが回転します。 この時、ブラシが正常に回転することを確認してからご使用ください。 (芯振れ等で正常に回転しないブラシは使用しないでください。) もう一度電源ボタンを押すことでブラシの回転が止まります。

● 角度をつける(図6参照)

ジョイントのノブを緩めると角度をつけることができます。 角度が決まったら ノブをしっかり締めて固定してください。





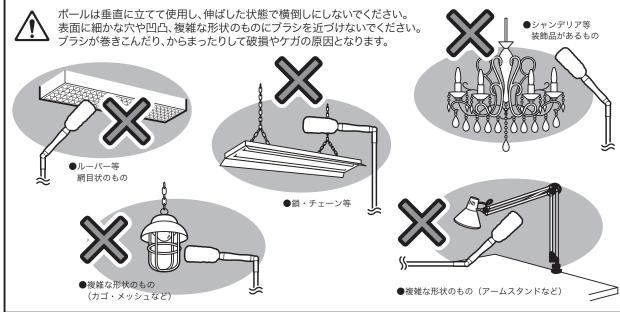
● 使用例







使用できない例



使用後

使用後は本体の電源スイッチを押し、電源を切ってください。

そのあと本体からブラシを外します。ブラシについたホコリは振り落とし、汚れは水洗いしてください。

水洗いしたブラシは高温・直射日光を避け、乾燥させてください。

本体は誤ってスイッチが入らない様に保管し、長期間使用しない場合は、電池を抜き取ってください。

電動ライティングクリーナーシリーズ

●電動ライティングクリーナー本体 / DLC-LCD

駆動電源:単四アルカリ電池 4本

(注:電池は付属しておりません)

駆動時間:約30分(無負荷、連続運転)

定格寿命:約600分

目安。 使用条件によって 異なります。

使用環境条件:0℃~35℃ 多湿を避けること。 保管:高温多湿を避け、直射日光の当たらない場所に

保管してください。



●ブラシ・ストレートS / DLC-LCD01



材質:ポリエステル(糸)、SPC(芯)、ABS

●電動ライティングクリーナー 1.8mポールセット / DLC-LCD180S

セット内容

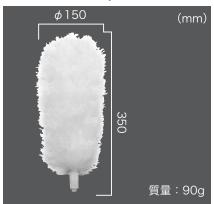
- ・1.8m ポール ×1
- ・本体 x1 ・ブラシ x3 (ストレート -S、M、L)

●電動ライティングクリーナー 3.3mポールセット / DLC-LCD330S

セット内容

- ・3.3m ポール×1
- ・本体 x 1 ・ブラシ x 3 (ストレート S、M、L)





材質:ポリエステル(糸)、SPC(芯)、ABS











1.8m ポール













●ブラシ・ストレートL / DLC-LCD03 φ150



材質:ポリエステル(糸)、SPC(芯)、ABS

沙 ジェフコム株式会社

〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16